

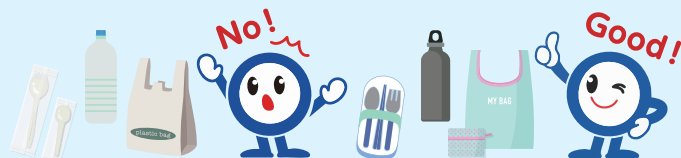


リデュース リユース Reduce & Reuse

脱プラの種を育てよう

今の小さな行動が私たちの未来につながります。
脱プラスチックを進めるために、一人ひとりが
できることから始めてみませんか。

使い捨てを減らして、繰り返し
使えるものを選ぼう！



マイボトルが空になったら給水スポットをご利用
ください。

千葉市給水スポット一覧 ▶



詰替え商品やプラスチック代替素材
(紙、木、竹やバイオプラスチックなど)を選ぼう



まだ使える不要品はリユース(再使用)しよう

千葉市にはまだ使える不要品を持ち込める、リユーススポットがあります。

ジモティースポット千葉 まだ使える不要品をお持ち込みください



また、直接持ち込みが出来るスポットのほか、
パソコンやスマホから簡単にリユースする方法も
あります。

捨てる前に一度リユースを考えてみませんか。



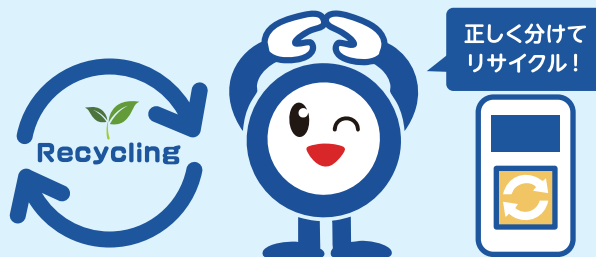
▲詳しくは



リサイクル Recycle

プラスチックを循環させよう

市施設や店頭での回収にご協力ください。



一部の市施設や、スーパー等の店頭にある
回収ボックスを活用すると、効率的な
リサイクルに貢献することができます。
回収にご協力ください。



▲市施設や市内店舗の
資源回収ボックス

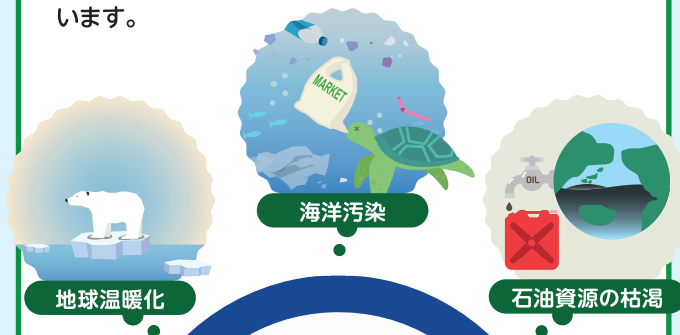
プラスチック分別収集・再資源化モデル事業

本市でのプラスチック資源の分別ルール
や収集の方法を検討するため、モデル
事業を実施しました。

分別収集・再資源化の本格実施に向け、
事業計画を策定するなど検討を進めて
います。



▲モデル事業
詳細



考えよう

プラスチックとの 付き合い方

えらんで、減らして、リサイクル



プラスチックはとても便利な素材ですが、焼却時に
大量の温室効果ガスを排出することや、適正に
廃棄されない海洋プラスチックごみ問題を引き
起こすことなどの課題があります。

持続可能な未来に向けて、プラスチックとの付き
合い方を考えてみませんか？



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

千葉市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

千葉市環境局資源循環部廃棄物対策課

✉ haikibutsutaisaku.ENR@city.chiba.lg.jp

ちばの海辺を守ろう！

私たちの生活から出たごみが 海を汚しています



マイクロプラスチックとは？

プラスチックは紫外線や波の力などで劣化して小さな破片へと変化していきます。このうち、5mm以下の小さなプラスチック片は「マイクロプラスチック」と呼ばれます。小さくなったプラスチックは拾えなくなり、どんどん海に溜まっていきます。

千葉市内の河川や海中、砂浜を調査した結果、すべての調査地点でマイクロプラスチックが検出されました。

● 調査研究：千葉工業大学 亀田研究室

詳しくは ▶



花見川で採取されたマイクロプラスチック



レジャーで出たごみは
持ち帰ろう！

ポイ捨てはやめよう！

清掃活動に参加しよう！



屋外のプラスチックは
劣化したら早めに交換しよう

海 洋プラスチックごみは、海辺で発生するものだけではありません。私たちの日常生活から出たごみが、雨で流されたり風で飛ばされたりして、川を通じて海に流れ込むケースが多くあります。世界全体では、毎年約800万トンのプラスチックごみが海に流出していると推計されています。このまま対策を講じなければ、2050年には海に生息する魚の重量をプラスチックごみが上回る可能性があるとも予測されています。

千葉市は、海とともに生まれ、育まれてきたまちです。このかけがえのない海辺を守り、未来の世代へと引き継いでいきましょう。